

大学生における親の呼び方とその選択基準について

皆川 晶*

The selection criteria of calling parents used by college students

by

Aki MINAGAWA*

要 旨

大学生が父親や母親に対してどのような呼称をしているのかを、アンケート調査した。直接呼びかけるとき、友人に親のことを話すとき、目上の人に親のことを話すとき、楽しいとき、怒っているときなど、さまざまな場面を設定し、場面によって親への呼称に変化はあるのか、また、その選択基準について調査し考察した。

親に対する呼称は、話す相手や場面によって使い分けをしていることがわかった。また、特に怒っている場面では、女子学生の父親、母親に対する呼び方に、通常とは違いがみられた。よって、大学生は親への呼称はいつも同じではなく、場面や話す相手によって使い分けをしていることがわかった。

Key Words: 親子の呼称、人称代名詞、配慮

1、はじめに

わたしたちは、人と会話をするとき、自分と相手との関係、つまり、親疎、性別、社会的な立場、場面などに応じて、呼称の使い分けをしている。職場でも上司、同僚、部下では、呼称も違って来る。

わたしたちの生活の中で、一番小さな集団は家族である。家族間の呼称は、親疎や社会的な立場などにいっさい左右されないはずである。一般的には、「お父さん」「お母さん」という呼称であろう。大学生の会話の中で「昨日ママがね～」「うちののぶちゃんがさあ～」「おとんが

超うざくて～」と耳にする。親に対して「ママ」「名前の一部分+ちゃん」「おとん」などバラエティーに富んだ呼び方をしている。ここで一つ疑問が湧いてきた。彼らは、友人の前では「ママ」「のぶちゃん」「おとん」と言っているが、実際に親に対しても同じように呼びかけているのであろうか。あるいは、友人の前では違う呼称を使っているのであろうか。そこで、大学生に調査することによって、親子で直接話すときや話す相手、場面などで使い分けをしているのか実態を把握し、その結果を踏まえて、大学生による親子間の呼称のありかたを考えるための、基盤のひとつにすることが目的である。

家族間、親子の呼称については、これまでに多くの先行研究がある。その中心的研究者の鈴

*崇城大学非常勤講師

木は家族間での呼び方について、「家族の間で、相手を代名詞で呼ぶことが出来るのは目上だけであり、また相手を名前で呼べるのも目上に限る。これに対し目下は、目上に向って、もっぱら親族語を使うしくみになっているのである」（鈴木、1975、4）といている。よって、「子供が父に対して『おとうさん』と呼びかけ、母に向って『ママは怒ってるんだね』などと話しかける場合の『おとうさん』や『ママ』という語は、どちらも子供から見た自分と相手との親族関係を正しく表現している」（鈴木、1975、4）。さらに、「目上の者は、相手と自分の関係を、自分の立場から見ないで、子供の立場、それも一番年少の子供の立場を通して把握するのである」（鈴木、1975、4）という表現の仕方が、家族間での呼称の基となっていると指摘している。

また、大野木は親子間の心理的離乳に関する研究で、「親子間の呼称変化の時期は中学生あるいは変化しないという2極化傾向にあった」（大野木、2009）と、呼称の変化の時期について心理的な面から細かく分析している。

さらに、横谷、長谷川は、呼称と家族関係との関連を考察している（横谷、長谷川、2009）。

本稿では、大学生が父親と母親に対してどのような呼び方をしているのか。また、話す相手によって、場面によって、親に対する呼び方は変わるのか。どのような呼び方をし、その選択基準をどこにおくのかを考察する。

2、調査にあたって

① 調査目的および調査日

大学生が父親、母親に対してどのような呼び方をしているのか、その選択基準はどこにあるのかを見るために、2014年7月上旬にアンケート調査を実施した。

② 調査協力者

調査協力者は、福岡県にある私立短期大学1年生（男子学生8名、女子学生94名）、熊本県にある私立大学1年生（男子学生79名、女子学生32名）の計213名である。

③ 調査内容

[質問]

あなたは親のことをどのように呼びますか。なぜ、そのように言うのか理由も具体的に書いてください。

[調査項目]

- (1) -1 子から父親への呼称（直接呼ぶとき）
- (1) -2 子から母親への呼称（直接呼ぶとき）
- (2) -1 現在と幼い頃の親への呼称
- (2) -2 呼称が変わった時期
- (2) -3 幼い頃の父親への呼称
- (2) -4 幼い頃の母親への呼称
- (2) -5 親への呼称の変化の理由
- (3) -1 将来的に親への呼称を変えたいか
- (3) -2 父親への呼称（将来）
- (3) -3 母親への呼称（将来）
- (3) -4 将来的に呼称を変えたい理由
- (4) 話す相手や場面によって、親への呼称を変えるか
- (5) -1 友人に自分の父親のことを話す場合
- (5) -2 (5) -1 の理由
- (5) -3 友人に自分の母親のことを話す場合
- (5) -4 (5) -3 の理由
- (6) -1 目上の人に自分の父親のことを話す場合
- (6) -2 (6) -1 の理由
- (6) -3 目上の人に自分の母親のことを話す場合
- (6) -4 (6) -3 の理由
- (7) -1 子がうれしいとき、楽しいときの父親への呼称（直接呼ぶとき）
- (7) -2 (7) -1 の理由
- (7) -3 子がうれしいとき、楽しいときの母親への呼称（直接呼ぶとき）
- (7) -4 (7) -3 の理由
- (8) -1 子が怒っているとき、機嫌の悪いときの父親への呼称（直接呼ぶとき）
- (8) -2 (8) -1 の理由
- (8) -3 子が怒っているとき、機嫌の悪いときの母親への呼称（直接呼ぶとき）
- (8) -4 (8) -3 の理由
- (9) -1 子がおねだりや頼みごとをするときの父親への呼称（直接呼ぶとき）
- (9) -2 (9) -1 の理由

(9) - 3 子がおねだりや頼みごとをするときの
母親への呼称 (直接呼ぶとき)

(9) - 4 (9) - 3 の理由

(10) - 1 子が機嫌のよい父親への呼称 (直接
呼ぶとき)

(10) - 2 (10) - 1 の理由

(10) - 3 子が機嫌のよい母親への呼称 (直接
呼ぶとき)

(10) - 4 (10) - 3 の理由

(11) - 1 子が機嫌の悪い父親への呼称 (直接
呼ぶとき)

(11) - 2 (11) - 1 の理由

(11) - 3 子が機嫌の悪い母親への呼称 (直接
呼ぶとき)

(11) - 4 (11) - 3 の理由

(12) - 1 父親から子への呼称 (直接呼ぶとき)

(12) - 2 母親から子への呼称 (直接呼ぶとき)

(13) - 1 親からの呼称に満足しているか

(13) - 2 (13) - 1 で「不満足」と答えた理由

お父ちゃん	0	1
パパさん	0	1
パピー	0	1

(1) - 2 子から母親への呼称 (直接呼ぶとき)

	男子学生	女子学生
お母さん	4 5	7 1
ママ	1	4 0
母さん	1 7	7
おかん	5	1 1
母ちゃん	7	0
おかあ	1	4
名前+さん	1	3
お母ちゃん	0	1
ばばあ	0	1
あなた	0	1
ママさん	0	1
ママちゃん	0	1
マミー	0	1
おい	1	0
おう	1	0
ねえ	1	0
名前の一部分	1	0
何と呼べばいいのか わからない	1	0
呼び方が悪いので 言えない	1	0

3、調査結果

調査の結果は、回答の多い順に記載する。呼称や理由には複数回答がある。ただし、集計にあたって、部分的な無回答を除外したため、集計対象人数は質問ごとに若干変動している。なお、選択理由についての記述がないものは、「なし」と記載する。

(1) - 1 子から父親への呼称 (直接呼ぶとき)

	男子学生	女子学生
お父さん	4 2	6 5
パパ	1	3 4
父さん	1 7	4
おとん	3	6
父ちゃん	6	2
おとう	0	4
名前 (呼び捨て)	1	3
名前+ちゃん	0	1
おやじ	3	1
あだな	1	1
おっさん	0	2
とっちゃん	0	1

※「名前の一部分」とは、例えば、名前が「のり子」なら「のり」、「よしあき」なら「よし」などという呼び方。

(2) - 1 現在と幼い頃の親への呼称

	男子学生	女子学生
同じ	4 6	8 6
違う	3 8	4 0

(2) - 2 (2) - 1 で「違う」と答えた学生で呼称が変わった時期

	男子学生	女子学生
小学校	1 8	1 3
幼稚園・保育園	1 0	1 9
中学校	4	2
高等学校	1	1
2・3歳	0	1

2) - 3 幼い頃の父親への呼称

	男子学生	女子学生
パパ	18	24
お父さん	8	4
父ちゃん	2	1
父さん	1	1
おとう	2	0
父	0	1
名前的一部分	1	0
父上	0	1

(2) - 4 幼い頃の母親への呼称

	男子学生	女子学生
ママ	20	28
お母さん	11	7
母ちゃん	2	0
おかあ	2	0
おふくろ	1	0
母上	0	1
名前+ちゃん	0	1
名前 (呼び捨て)	1	0
あだな	0	1

(2) - 5 親への呼称の変化の理由

	男子学生	女子学生
少し大人になったから	6	7
小学生になったから	7	6
中学生になったから	9	2
なんとなく	3	2
友人がそう呼んでいたから	2	2
親に変えるように言われたから	1	2
わからない	2	1
特に意識はない	3	0
いつのまにか	0	2
兄の影響を受けた	0	2
高校生になったから	0	1
漫画や本の影響	1	0
保育園の先生に変えるように言われたから	0	1
めんどろだった	1	0
気づいたら変わっていた	1	0

飼っているインコが呼んでいたので	1	0
覚えていない	1	0
別に意味はない	1	0
親の性格が悪くて、自分の親として受け入れられなくなったから	1	0

(3) - 1 将来的に親への呼称を変えたいか

	男子学生	女子学生
変えない	68	116
変えたい	18	9

(3) - 2 将来の父親への呼称 [(3) - 1 で「変えたい」と答えた学生]

	男子学生	女子学生
おやじ	9	0
お父さん	2	5
父さん	1	2
父上	1	0
おとん	0	1
父	0	1

(3) - 3 将来の母親への呼称 [(3) - 1 で「変えたい」と答えた学生]

	男子学生	女子学生
おふくろ	9	0
お母さん	2	6
母さん	2	1
母上	1	0
おかん	0	1
母	0	1

(3) - 4 将来的に親の呼称を変えたい理由 [(3) - 1 で「変えたい」と答えた学生]

	男子学生	女子学生
成人したら今の呼び方では恥ずかしいから	4	3
大人っぽくしたいから	4	0
今のままでは人前では言えないから	2	0
尊敬の念を込める意味を含ませたいから	1	0
けじめをつけるため	1	0

就職したら	0	1
社会に出るから	0	1
社会に出たときだけ変えたい	0	1
ふざけても許されそうだから	0	1
なんとなく	1	0

(4) 話す相手や場面によって、親への呼称を変えるか

	男子学生	女子学生
変えない	6 1	5 7
変える	2 6	6 7

※(5)～(11)は、(4)で「変える」と答えた回答者に質問した。

※(4)で「変えない」と答えたが、質問を取り違えて、(5)～(11)の質問に答えた回答者がいた。しかし、無効とはせず集計したので、合計人数が一定していない。

(5) - 1 友人に自分の父親のことを話す場合

	男子学生	女子学生
お父さん	1	2 0
父さん	3	2
おとん	0	3
おやじ	3	0
父親	2	1
親	0	2
父上	1	0
父	0	1
パパ	0	1
パピー	1	0
あの人	0	1
名前(呼び捨て)	0	1

(5) - 2 (5) - 1 の理由

	理 由
お父さん	いつも通りの呼び方をする と少し恥ずかしいから ④
	いつも通りの言い方をする ②
	立場が対等だから ①
	変える必要がない ①

	友達にわかりやすいように ①
	なんとなく ①
父さん	いつもの呼び方では誰のことかわからないと思うから ①
	相手に話しているときに敬うのはおかしいから ①
	変える必要なし ①
	なんとなく ①
おとん	いつもの呼び方を人前で言うのは気が引ける ①
	友達だから ①
おやじ	お父さんと言うのは恥ずかしいから ②
	わかりやすいように ①
父親	人前では言いづらいから ①
	恥ずかしいから ①
	くせ ①
親	「お父さん」と言うのは長いから ①
父上	ふざけて ①
父	私が大人だから ①
パパ	なし
パピー	なし
あの人	今は父親だと思っていないから ①
名前(呼び捨て)	なし

※「理由」の横の①は男子学生の数、①は女子学生の数である。以降も同様。

(5) - 3 友人に自分の母親のことを話す場合

	男子学生	女子学生
お母さん	1	1 6
親	0	5
母さん	3	1
母親	2	1
おかん	0	3
名前(呼び捨て)	0	2
名前+ちゃん	0	1
母上	1	0
母	0	1
お母様	1	0
マー	1	0
おふくろ	1	0
母ちゃん	1	0

Ⅴ) -4 (5) -3 の理由

	理 由
お母さん	いつも通りの呼び方をする と少し恥ずかしいから ④
	いつも通りの言い方をする ②
	立場が対等だから ①
	変える必要がない ①
	友達にわかりやすいように ①
	なんとなく ①
親	なんとなく ②
	「お母さん」と言うのは長い から ①
母さん	相手に話しているときに敬 うのはおかしいから ①
	なんとなく ①
母親	人前では言いづらいから ①
	恥ずかしいから ①
	くせ ①
おかん	いつもの呼び方を人前で言 うのは気が引ける ①
	友達だから ①
名前 (呼び捨て)	なし
名前+ちゃん	なんとなく ①
母上	ふざけて ①
母	私が大人だから ①
お母様	強制 ①
マー	なし
おふくろ	恥ずかしいから ①
母ちゃん	わかりやすいように ①

(6) -1 目上の人に自分の父親のことを話す場
合

	男子学生	女子学生
父	1 6	4 3
お父さん	1	1 4
父親	2	3
おっとう	1	0

(6) -2 (6) -1 の理由

	理 由
父	目上の人だから ③ ⑧
	こう言うように習ったから ⑤
	なんとなく ③ ①

	敬語だから ③ ①
	相手に失礼がないように ② ①
	常識 ③
	正しい言い方だから ②
	丁寧に言うべきだから ①
	大人っぽくなるため ①
	謙譲語で話す ①
	相手の方が立場が上だから ①
	身内のことだから ①
	マナー ①
	正式な呼び方をしないと相手に失 礼 ①
	私が大人だから ①
お父さん	まわりがそう呼ぶから ①
	くせ ①
	特にない ①
お父さん	目上の人だから ②
	「パパ」は軽いから ①
	いつもの呼び方はおかしいから ①
父親	いつも通りの呼び方をする と少し恥ずかしいから ①
	面接ではないからいいかな ①
	目上の人だから ②
おっとう	わかりやすいように ① ①
	なし

(6) -3 目上の人に自分の母親のことを話す場
合

	男子学生	女子学生
母	1 7	4 6
お母さん	1	1 5
母親	2	3
母ちゃん	1	0
おっかー	1	0

(6) -4 (6) -3 の理由

	理 由
母	目上の人だから ③ ⑧
	こう言うように習ったから ⑤
	なんとなく ③ ①
	敬語だから ③ ①
	相手に失礼がないように ② ①
	常識 ③

	正しい言い方だから ②
	丁寧に言うべきだから ①
	大人っぽくなるため ①
	謙譲語で話す ①
	相手の方が立場が上だから ①
	身内のことだから ①
	マナー ①
	正式な呼び方をしないと相手に失礼 ①
	私が大人だから ①
	礼儀だから ①
	まわりがそう呼ぶから ①
	くせ ①
	特にない ①
	ふつう ①
	おこられそうだから ①
お母さん	目上の人だから ①
	「ママ」は軽いから ①
	いつもの呼び方はおかしいから ①
	いつも通りの呼び方をすると少し恥ずかしいから ①
	いつも通りの呼び方をすると失礼だと思ふから ①
	面接ではないからいいかな ①
母親	目上の人だから ②
	わかりやすいように ① ①
母ちゃん	なつかしい感じがするから ①
おっかー	なし

(7)-1 子がうれしいとき、楽しいときの父親への呼称（直接呼ぶとき）

	男子学生	女子学生
お父さん	3	8
父さん	2	1
パパ	0	3
呼ばない	0	2
おとさん	0	1
パパさん	0	1
ダディー	1	0
おとん	1	0

(7)-2 (7)-1 の理由

	理由
お父さん	変える必要がないから ① ①
	なんとなく ① ①
	身内だから ①
	何も考えていない ①
父さん	変える必要がないから ①
	なんとなく ①
パパ	うれしいから ①
呼ばない	父親にはうれしい、楽しいことがあっても、報告しない ①
おとさん	なし
パパさん	デフォルメ ①
ダディー	なし
おとん	なし

(7)-3 子がうれしいとき、楽しいときの母親への呼称（直接呼ぶとき）

	男子学生	女子学生
お母さん	3	8
ママ	0	4
母さん	3	1
おかん	1	1
ママさん	0	1
マミー	1	0

(7)-4 (7)-3 の理由

	理由
お母さん	変える必要がないから ① ①
	身内だから ②
	なんとなく ①
	何も考えていないから ①
	特に理由はない ①
ママ	うれしいから ①
	素の感情のときに呼ぶから ①
母さん	変える必要がないから ①
	なんとなく ①
おかん	なんとなく ①
ママさん	デフォルメ ①
マミー	なし

(8) - 1 子が怒っているとき、機嫌の悪いときの父親への呼称（直接呼ぶとき）

	男子学生	女子学生
お父さん	2	5
ジジィ	0	3
おとん	1	1
ねえ	0	2
父さん	1	0
親父	1	0
パパ	0	1
パパさん	0	1
あんた	0	1
自分	0	1
お前	0	1
くそじじい	0	1
呼ばない	0	1

(8) - 2 (8) - 1 の理由

	理由
お父さん	変える必要がないから ②
	怖いから ①
ジジィ	なし
おとん	なし
ねえ	「父さん」などは呼びづらいから ①
父さん	なんとなく ①
親父	なし
パパ	なし
パパさん	デフォルメ ①
あんた	呼びたくないから ①
自分	なし
お前	なし
くそじじい	むかつくから ①
呼ばない	逆に怒られそうだから ①

(8) - 3 子が怒っているとき、機嫌の悪いときの母親への呼称（直接呼ぶとき）

	男子学生	女子学生
お母さん	2	5
ババア	0	3
おかん	1	2
ママ	0	2
自分	0	2
母さん	1	0

おふくろ	1	0
おばちゃん	0	1
ママさん	0	1
あなた	0	1
お前	0	1
くそババア	0	1
おいちゃん	1	0
あんた	0	1

(8) - 4 (8) - 3 の理由

	理由
お母さん	変える必要がないから ②
	特に理由はない ①
ババア	むかつくから ①
おかん	なし
ママ	なし
自分	呼びたくないから ①
母さん	なんとなく ①
おふくろ	なし
おばちゃん	こわいから ①
ママさん	デフォルメ ①
あなた	普段通りに呼びたくないから ①
お前	なし
くそババア	怒っているから ①
おいちゃん	なし
あんた	むかつくから ①

(9) - 1 子がおねだりや頼みごとをするときの父親への呼称（直接呼ぶとき）

	男子学生	女子学生
お父さん	3	8
パパ	1	1
パパさん	0	1
パピー	0	1
お父様	0	1
父さん	1	0
おとさん	0	1
おとん	1	0

㉒) -2 (9) -1 の理由

	理 由
お父さん	変える必要がないから ① ②
	買ってもらえる確率を高めるため ①
	甘えているから ①
	何も考えていない ①
パパ	かわいいから ①
パパさん	デフォルメ ①
パピー	なし
お父様	なし
父さん	なんとなく ①
おとさん	なし
おとん	なし

(9) -3 子がおねだりや頼みごとをするときの母親への呼称 (直接呼ぶとき)

	男子学生	女子学生
お母さん	3	5
ママ	2	4
お母様	0	2
母上	1	0
ママさん	0	1
マミー	0	1
母さん	1	0
おかん	1	0

(9) -4 (9) -3 の理由

	理 由
お母さん	変える必要がないから ① ②
	特に理由はない ①
	何も考えていない ①
ママ	かわいいから ①
	甘えているから ①
	ノリで ①
	変な呼び方をすると却下されるから ①
お母様	買ってもらえる確率を高めるため ①
母上	よいしょすれば、ひょっとしたら買ってくれるかもしれないので ①
ママさん	デフォルメ ①
マミー	なし

母さん	なんとなく ①
おかん	なし

(10) -1 子が機嫌のよい父親への呼称 (直接呼ぶとき)

	男子学生	女子学生
お父さん	3	7
パパ	0	3
父さん	2	0
父上	2	0
パパさん	0	1
名前+ちゃん	0	1
あだな	0	1
おっさん	0	1
父ちゃん	0	1

(10) -2 (10) -1 の理由

	理 由
お父さん	変える必要がないから ① ②
	甘えようとしているから ①
	なんか腹がたつから ①
	何も考えていない ①
パパ	変な呼び方をすると機嫌を損ねるので ①
父さん	変える必要がない ①
	なんとなく ①
父上	さらに機嫌よくなってもらうため ①
パパさん	デフォルメ ①
名前+ちゃん	なし
あだな	なし
おっさん	なし
父ちゃん	なし

(10) -3 子が機嫌のよい母親への呼称 (直接呼ぶとき)

	男子学生	女子学生
お母さん	3	5
母さん	3	1
ママ	0	3
母ちゃん	0	2
母上	2	0

ママさん	0	1
おばちゃん	0	1

I (0) - 4 (10) - 3 の理由

	理 由
お母さん	変える必要がない ① ②
	何も考えていない ①
	特に理由はない ①
母さん	変える必要がない ①
ママ	変な呼び方をすると機嫌を損ねるので ①
	甘えようとしているから ①
母ちゃん	なし
母上	さらに機嫌よくなってもらうため ①
ママさん	デフォルト ①
おばちゃん	なんか腹が立つから ①

(11) - 1 子が機嫌の悪い父親への呼称 (直接呼ぶとき)

	男子学生	女子学生
お父さん	3	8
パパ	0	2
おとん	1	1
自分	0	2
父さん	1	0
ジジイ	0	1
呼ばない	0	1

(11) - 2 (11) - 1 の理由

	理 由
お父さん	変える必要がない ① ②
	面倒臭いから ①
	意味はない ①
パパ	なし
おとん	なんとなく ①
自分	なんとなく ①
父さん	なんとなく ①
ジジイ	なし
呼ばない	喧嘩に発展するから ①

(11) - 3 子が機嫌の悪い母親への呼称 (直接呼ぶとき)

	男子学生	女子学生
お母さん	3	8
自分	0	2
母さん	1	1
ママ	0	1
ママちゃん	0	1
おかん	1	0
あんた	0	1
呼ばない	0	1

(11) - 4 (11) - 3 の理由

	理 由
お母さん	変える必要がない ① ②
	特に理由はない ①
	意味はない ①
	面倒臭いから ①
自分	なんとなく ①
母さん	なんとなく ①
ママ	なし
ママちゃん	なんとなく ①
おかん	なし
あんた	むかつくから ①
呼ばない	喧嘩に発展するから ①

(12) - 1 父親から子への呼称 (直接呼ぶとき)

	男子学生	女子学生
名前 (呼び捨て)	5 0	8 5
あだ名	4	1 0
名前の一部分	7	2
名前+ちゃん	0	8
名前+さん	0	3
名前+くん	1	0
お姉ちゃん	0	1
弟の名前	1	0
社長	1	0
おい	1	0
あんた	0	1
おまえ	0	1

【2】-2 母親から子への呼称（直接呼ぶとき）

	男子学生	女子学生
名前（呼び捨て）	46	91
名前+ちゃん	4	23
あだな	5	10
名前の一部分	7	6
名前+さん	0	1
名前+くん	1	0
お姉ちゃん	0	1
弟の名前	1	0
娘	0	1
あなた	0	1
あんた	0	1

(13)-1 親からの呼称に満足しているか

	男子学生	女子学生
満足	70	118
不満足	6	3

(13)-2 (13)-1で「不満足」と答えた理由

刺激がほしいから ②
弟と名前を間違えるから ①
親のことが嫌いだから ①
「あんた」と呼ばれるのは、気分があまりよくないから ①
ブタではないのに、「ぶー」というあだなをつけて呼ぶから ①
子どもっぽいから ①
恥ずかしいから ①

4. 調査から見てきたもの

(1)-1 子から父親への呼称（直接呼ぶとき）

男子学生の56.8%、女子学生の51.2%と多くの学生が「お父さん」と呼んでいる。これは予想通りだが、女子学生の27%が「パパ」と呼んでいた。「パパ」という呼称は小学生くらいまでの呼び方だと思っていたので、意外であった。

特に女子学生において、「おとん」を6人、「おとう」を4人が使用し、男子学生においては、「おとん」が3人、「おとう」の使用はなかった。調査対象者は福岡県出身者が95名おり、福岡県の地域によっては「おとん」「おとう」

という方言を使用するところがある。よって、学生にもこれらの呼称の使用者がいたと考えられる。

父親の名前を呼び捨てで呼ぶ男子学生が1人、女子学生に3人いた。名前に「ちゃん」をつけて呼ぶ女子学生も1人いた。子が親に対して名前と呼ぶのは、失礼で横柄な印象をうけるが、これは、彼らにとっては親しみの表現なのであろう。「父と子」という縦の関係ではなく、友人のような横の関係という感覚で親しみを込めた呼称といえよう。

(1)-2 子から母親への呼称（直接呼ぶとき）

男子学生の54.2%、女子学生の50%が「お母さん」と呼んでいる。これは予想通りである。

男子学生に次に多かったのが、「母さん」で20.5%だが、女子学生は5%と少なかった。

女子学生に次に多かったのが、「ママ」で28%だが、男子学生は1%であった。

「おかん」は女子学生が11人、男子学生が5人、「おかあ」は女子学生が4人、男子学生が1人であった。これも父親への呼称と同様、福岡県の地域による方言の使用と考えられる。

父親への呼称との違いは、男子学生に1人ずつの回答ではあるが、「おい」「おう」「ねえ」という呼びかけのことばがあった。また、「何と呼べばいいのかわからない」という回答があり、20歳を目前にし、母親に対して「お母さん」「母さん」と呼ぶのが気恥ずかしいのか。あるいは、母親と少し距離をおこうとする姿勢なのか。父親に対してはない呼び方がみられた。

(2)-1-2 現在と幼いころの親への呼称

男子学生の54.8%、女子学生の68%が、幼いころも現在も同じ呼び方をしていると答えた。たとえば、幼いころは「パパ」「ママ」と呼び、成長とともに「お父さん」「お母さん」などと変化していくのだろうと予想していたので、予想外の結果となった。この結果から、成長とともに、親に対する呼称が変化する傾向は低いと考えられる。

「幼い頃と呼び方が変わった」と回答した中で、変わった時期で多かったのが、小学校で、

男子学生の54.5%、女子学生の36%、幼稚園・保育園は、男子学生の30%、女子学生の52.8%であった。子どもが家庭の中から出て、初めて出会う公的社會が幼稚園や保育園である。その小さな集団から、また大きな集団になる小学校、それらの集団の中での刺激や影響により、呼び方が変化したと考えられる。

(2) - 3・4 幼い頃の親への呼称

幼い頃の呼び方として多かったのは、「パパ」が、男子学生の56%、女子学生の75%、「ママ」が男子学生の54%、女子学生の73.7%であった。

「お父さん」は男子学生の25%、女子学生の12.5%であった。「お母さん」は男子学生の30%、女子学生の18.4%であった。

(2) - 5 親への呼称の変化の理由

「少し大人になったから」「小学生になったから」「中学生になったから」「高校生になったから」という理由をあわせると、男子学生の55%、女子学生の59.3%である。成長とともに、学校の進級などがきっかけとなり、自分の意志で変えたと推定できる。

しかし、男子学生の「中学生になったから」と答えたのは9人で、(2) - 2の問いで「中学校から変わった」と答えたのは4人しかいなかった。ここでの問いに対して、(2) - 2で答えなかった学生も答えていると推定できる。

また、「友人がそう呼んでいたから」「兄の影響を受けた」「漫画や本の影響」などと、他者からの影響で変わったのが、男子学生の7.5%、女子学生の14.8%であった。さらに、「親に変えるように言われた」「保育園の先生に変えるように言われた」と、親や先生という身近な大人からの助言で変えたのが、男子学生の2.5%、女子学生の11%であった。

「なんとなく」「わからない」「特に意識はない」「いつのまにか」「気づいたら変わっていた」「覚えていない」「別に意味はない」という回答を合わせると、男子学生の27.5%、女子学生の18.5%であった。呼称が変わった時期が幼稚園・保育園、小学校であれば、なぜ変わった

のかという理由を覚えていないのは納得できる。

(3) - 1・2・3・4 将来的に親への呼称を変えたいか。変えたい理由とその呼称

「変えたい」と答えたのは、男子学生の20.9%、女子学生の7%であった。

「変えたい」と答えた男子学生の半数が、父親に対して「おやじ」に、母親に対しては「おふくろ」に変えたいと答えた。理由は「成人したら今の呼び方では恥ずかしいから」、「大人っぽくしたいから」がそれぞれ4人であった。この理由から、男子学生にとっては、「おやじ」「おふくろ」という呼称が、大人をイメージさせる呼び方であると推測される。

女子学生は父親に対して「お父さん」に変えたいのが55.6%、母親に対して「お母さん」に変えたいのが66.7%であった。女子学生は通常の呼び方として、(1) - 1の父親への呼称で「パパ」が27%、(1) - 2の母親への呼称で「ママ」が28%いたこと、また、理由に「成人したら今の呼び方では恥ずかしいから」が3人、「就職したら」「社会に出るから」「社会に出たときだけ変えたい」がそれぞれ1人いたことから、「お父さん」「お母さん」に変えたいという回答が多かったと推測される。

(4) 話す相手や場面によって、親への呼称を変えるか

男子学生は「変える」が29.9%、「変えない」が70.1%で圧倒的に多かった。女子学生は「変える」が54%、「変えない」が46%と、大差はなかった。男子学生よりも女子学生の方が、呼称の使い分けに対する意識が高いと推測される。

(5) - 1・2 友人に自分の父親のことを話す場合とその理由

男子学生は「父さん」「おやじ」がともに3人で、「『お父さん』と言うのは恥ずかしいから」「わかりやすいように」という理由であった。

女子学生は「お父さん」が20人で、「いつも通りの呼び方をすると少し恥ずかしいから」

「友達にわかりやすいように」という理由であった。

男子学生、女子学生ともに、たとえ話す相手が友人であっても、伝えることが親への呼称であっても、一つのことばから、自分の心の真の部分を見られたくないという姿勢の表れであろうか。

(5) - 3・4 友人に自分の母親のことを話す場合とその理由

男子学生は「母上」「お母様」の使用が1人ずつあり、その理由に「ふざけて」「強制」とある。「おふくろ」「母ちゃん」の使用も1人ずついた。「恥ずかしいから」「わかりやすいように」という理由である。母親のことを友人に話す気恥ずかしさが、呼称の選択にも表れていると推測される。

女子学生は、「お母さん」が16人で、「恥ずかしいから」、「おかん」は3人で「いつもの呼び方を人前と言うのは気が引ける」とあり、通常呼び方で多かった「ママ」の使用が「友達にわかりやすいように」という理由などから、一般的な「お母さん」という呼び方に変えていると推測される。

(6) - 1・2・3・4 目上の人に自分の親のことを話す場合とその理由

男子学生の80%、女子学生の71.7%が「父」、男子学生の77.3%、女子学生の71.8%が「母」と答えた。「目上の人だから」「相手に失礼のないように」「丁寧に言うべきだから」「マナー」という理由から、ことばの使い分け、敬語やことばに対する配慮、分別がついているといえよう。相手への心遣いもわきまえている。

女子学生に多かったのが「お父さん」の23.3%、「お母さん」の23.4%で『パパ』『ママ』は軽いから」「いつもの呼び方はおかしいから」という理由から、通常呼び方と目上の人に話す場合と意識的な使い分けができている。

(7) - 1・2・3・4 子がうれしいとき、楽しいときの親への呼称とその理由

男子学生、女子学生ともに「お父さん」「お

母さん」が多く、通常呼び方との違いは特になかった。しかし、父親に対して「呼ばない」と答えた女子学生がおり、理由に「父親にはうれしい、楽しいことがあっても、報告しない」とあり、一部には、子と父親との関係が疎遠になっている回答者もいると推測される。

(8) - 1・2・3・4 子が怒っているとき、機嫌の悪いときの親への呼称とその理由

男子学生、女子学生ともに「お父さん」「お母さん」が多く、通常と変わらなかった。女子学生の場合、次に多かったのが「ジジィ」「ババア」で、「むかつくから」という理由であった。女子学生はほかにも「あんた」「お前」「くそじじい」「くそババア」と、粗雑な表現を使用している。また、母親に対して「あなた」「自分」という疎遠な呼称の使用があった。

「あなた」は、「尊敬を含むが故に、目上に対して使うとされることがあるが、子供が親に向って、『あなた』とは言えない⁽¹⁾。「目下は目上に、父、母、兄、姉、といった親族概念を含む各種の呼びかけ語を使用するのが普通である⁽²⁾と、先行研究にもある。「あなた」は目下に使うことばであり、ましてや到底子から親への呼び方に使用するとは想像できない。理由は、「呼びたくない」「普段通りに呼びたくない」とあり、普段は使わないことばを使用したであろう。怒っている、機嫌が悪いという感情のたかぶりによって、このように呼称が変わることがわかった。

男子学生の母親への呼称で「おいちゃん」がある。これは、福岡県筑豊地方の方言で「おじさん」のことを「おいちゃん」という。この回答者は、母親に男性の呼称を使用している。なぜ、そのような呼び方をするのか知りたかったが、理由の記述がなかったので残念であった。

(9) - 1・2・3・4 子がおねだりや頼みごとをするときの親への呼称とその理由

男子学生、女子学生ともに「お父さん」「お母さん」が多かった。

また、母親に対して「ママ」「お母様」「母上」「マミー」の使用があり、理由に「買って

もらえる確率を高めるため」「よしよすれば、ひよっとしたら買ってくれるかもしれない」とある。これらの理由から、父親よりも母親に対する期待の表現が強いと推測される。

(10)－1・2・3・4 子が機嫌のよい親への呼称とその理由

男子学生、女子学生ともに「お父さん」「お母さん」が多かった。

女子学生が父親に対して「おっさん」と呼んでいる。親に対する呼称ではなく、第三者の男性に対する粗雑な呼称である。なぜ、このような呼び方をするのか知りたかったが、理由の記述がなかった。

「父上」「母上」と答えた男子学生がおり、「さらに機嫌よくなってもらうため」という理由から、親に対するやさしさ、心遣いが表れている。それに対して、女子学生には「なんか腹が立つから」という理由から「おばちゃん」と呼ぶという回答があった。母親の機嫌がよいとこちらもうれしくなると思うのだが、同性であるがゆえの抵抗感、あるいは母親に対する反抗心の表れなのであろうか。

(11)－1・2・3・4 子が機嫌の悪い親への呼称とその理由

通常呼び方と大きな違いはない。しかし、女子学生に限って、「喧嘩に発展するから」という理由から「呼ばない」、さらに母親に対して「むかつくから」という理由から「あんた」という回答があった。ごく少数ではあるが、女子学生は母親に対して、「あんた」のほかに「自分」などと疎遠なことばを使っている。一番近い存在であるからこそ、同性であるからこそ、甘えの裏返し表現であると推測される。

(12)－1・2 親から子への呼称

父親、母親ともに子に対して「名前の呼び捨て」が圧倒的に多かった。父親から男子学生には77%、女子学生には76.6%。母親から男子学生には72%、女子学生には66.9%であった。

父親から女子学生には「あだな」が10人、つ

いで「名前+ちゃん」が8人であった。男子学生には「名前の一部分」が7人いた。

母親から女子学生には「名前+ちゃん」が23人、男子学生には「名前の一部分」が7人いた。

名前に「ちゃん」「さん」をつけた呼び方が多いと予想していたが、大きく外れ「名前の呼び捨て」が多かった。このように父親、母親が性差に関係なく、子に対して「名前の呼び捨て」をしていることがわかった。

(13)－1・2 親からの呼称に満足しているか

「満足」の男子学生が92.1%、女子学生が98.3%である。「不満足」には呼称自体が嫌である理由と、「親のことが嫌い」という理由もあった。

親からの呼称は(12)－1・2でわかるように、7割前後が「名前の呼び捨て」をされていたので、この呼ばれ方に不満はないということであろう。

5、おわりに

本研究では、親子間の呼称が一定の呼称に限らず、互いの感情の具合で変化することがわかった。また、その呼称の変化には、親子間の親密さや疎遠さ、気恥ずかしさが影響することがわかった。

たとえば、場面の設定によっては、普段父親を「お父さん」と呼んでいる学生が、機嫌の悪いときは「じじい」と呼び、頼みごとをするときは「パパ」と呼んだりする。普段母親を「ママ」と呼んでいる学生が、友人に話すときは「おかん」と言い、機嫌の悪いときは「あんた」と呼び、頼みごとをするときは「お母様」と呼ぶなど、それぞれの感情や場面で使い分けをしている。それらの変化する呼称には、自分の感情に左右されたり、また、親の感情を理解し、親への配慮があらわれている。単なる親への呼びかけ、一つの単語であるが、互いの心の動きや場面を考え、さらに、相手への配慮も忘れずに、自分なりの選択基準を設けて、呼称の使い分けをしていることがわかった。

本研究は九州の福岡、熊本地域の大学生のみ

の調査であるため、今後は幅広い調査対象者を集め、また、場面の設定もさらにくわしくし、親から子への呼称の変化なども検討する必要がある。本研究はこのような限界はあるが、親子間の呼称はつねに一定したものではなく、互いの感情や場面で使い分けがされていることがわかった。ことばはつねに変化している。今後も親子間の呼称の変化をみていきたい。

自称・相互呼称における非対称性—アンケート調査の結果から—『日本語とジェンダー 第6号』

注

- (1) 鈴木孝夫 (1975、4) 『ことばと社会』中央公論新社
- (2) (1)と同じ

参考文献

- 1) アザム・セペフリバディ (2011) 「現代日本語における家族から呼ばれるときの呼称」『一橋大学国際教育センター紀要第2号』
- 2) 大野木裕明 (2009) 「女子青年からみた親子間の呼称と心理的離乳」『仁愛大学研究紀要 人間生活学部篇 創刊号』
- 3) 沖森卓也編 (2012) 『日本語ライブラリー・語と語彙』朝倉書店
- 4) 佐藤達全 (2007) 「家族の呼び方と子ども観について—『いじめ』や虐待の問題を考える手がかりとして—」『育英短期大学研究紀要 第24号』
- 5) 佐藤良一、小学館辞典編集部 (2003) 『日本方言辞典—標準語引き』小学館
- 6) 鈴木孝夫 (1973) 『ことばと文化』岩波書店
- 7) 鈴木孝夫 (1975、3) 『閉ざされた言語・日本語の世界』新潮社
- 8) 鈴木孝夫 (1975、4) 『ことばと社会』中央公論新社
- 9) 横谷謙次・長谷川啓三 (2009) 「『逸脱した』呼称の定義」『東北大学大学院教育研究科年報 第58集・第1号』
- 10) 横谷謙次・長谷川啓三 (2010) 「呼称が示す談話モダリティ—無規定な呼称とそれ以外の呼称との比較—」『東北大学大学院教育研究科研究年報 第59集・第1号』
- 11) 寄藤昂・董梵 (2006) 「家族内における両親の